



超絶技巧を 超えて

2018
11月23日
金・祝
2019
1月20日
Pop & Realism

◎開館時間:10時-18時 ●金曜日は20時まで
●入館は閉館の30分前まで◎休館日:月曜日[12月24日、1月14日は開館]、12月25日[火]、12月29日[土]-1月1日[火・祝]◎入館料:一般900(700)円、高校・大学生700(500)円、中学生以下無料
●()内は前売料金[9/22-11/22販売]●20名以上の団体は、一般800円、高校・大学生600円●障がい者手帳等持参の方は100円引き(介添者1名は無料)
◎主催:東京ステーションギャラリー[公益財団法人東日本鉄道文化財団]、毎日新聞社
◎企画協力:アートワン

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



超絶技巧?

そんな単純な言葉で説明することはできません。延々と17メートルにわたって描かれた金網、1年間毎日描き続けた365枚の自画像、1文字1文字をすべて書き写

した新聞紙——。吉村芳生が生み出した作品は、どれも超絶リアルでありながら、見る者の度肝を抜く凄味を感じさせます。1950年、山口県に生まれた吉村芳生が一躍注目を浴びたのは2007年のことでした。この年に開かれた「六本木クロッシング2007」展(森美術館)に出品された作品が大きな話題となり、吉村は57歳にして突如、現代アート・シーンの寵児となったのです。本展は吉村芳生の東京初となる回顧展で、初期のモノトーンによる版画やドローイング、後期の色鮮やかな花の作品、生涯を通じて描き続けた自画像など、全62件600点を超える展示品によって吉村の全貌を伝えます。2013年に惜しまれつつ早逝した吉村芳生の、ただ上手いだけの絵ではない、描くこと、生きることの意味を問い直す真摯な作品の数々を、ぜひその眼で目撃してください。



《無数の輝く生命に捧ぐ》2011-13年、色鉛筆/紙、個人蔵

関連イベント

講演会「吉村芳生との出会い、その後」
2018年12月15日[土] 19時~20時30分(18時30分開場)
会場:東京ステーションギャラリー 2階展示室
講師:山下裕二(明治学院大学教授)
定員:70名/参加無料/事前申込制
申込方法:11月23日[金・祝]以降の開館時間中に当館まで電話(03-3212-2485)でお申込みください
・閉館後の実施のため、展覧会とは異なります。
・1回のお申込みにつき2名までとさせていただきます。
・定員になり次第受付終了。



《SCENE 85-8》1985年、鉛筆/紙、東京ステーションギャラリー

ギャラリートーク [担当学芸員による解説]

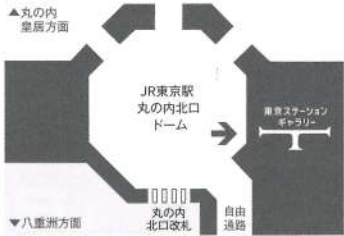
12月7日[金]、12月21日[金] 17時~(約30分)
3階展示室集合/参加無料(要別途入館料)/事前申込不要 ・混雑時には中止することがあります。

レンガ・タッチ&トーク [煉瓦が特徴的な当館のたても解説]

12月5日[水]、12月19日[水] 15時~(約30分)
1階エントランス集合/定員:15名/参加無料(要別途入館料)/当日1階受付でお申込みください

前売券 ローソンチケット(Lコード=31616)、イープラス、CNプレイガイド、セブンチケットにて販売(9/22~11/22)。当館受付での販売は9/22~11/11の開館日(閉館30分前まで)に限ります。

東京都千代田区丸の内1-9-1 Tel. 03-3212-2485 <http://www.ejrct.or.jp/gallery/>
交通:JR東京駅 丸の内北口 改札前



東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



《新聞と自画像2008.10.8毎日新聞》2008年、鉛筆・色鉛筆他/紙、個人蔵 (表面は本作の部分)

今後の予定
東京駅で建築講座
2019年1月25日[金]~1月27日[日]
アルヴァ・アアルト もうひとつの自然
2019年2月16日[土]~4月14日[日]

